

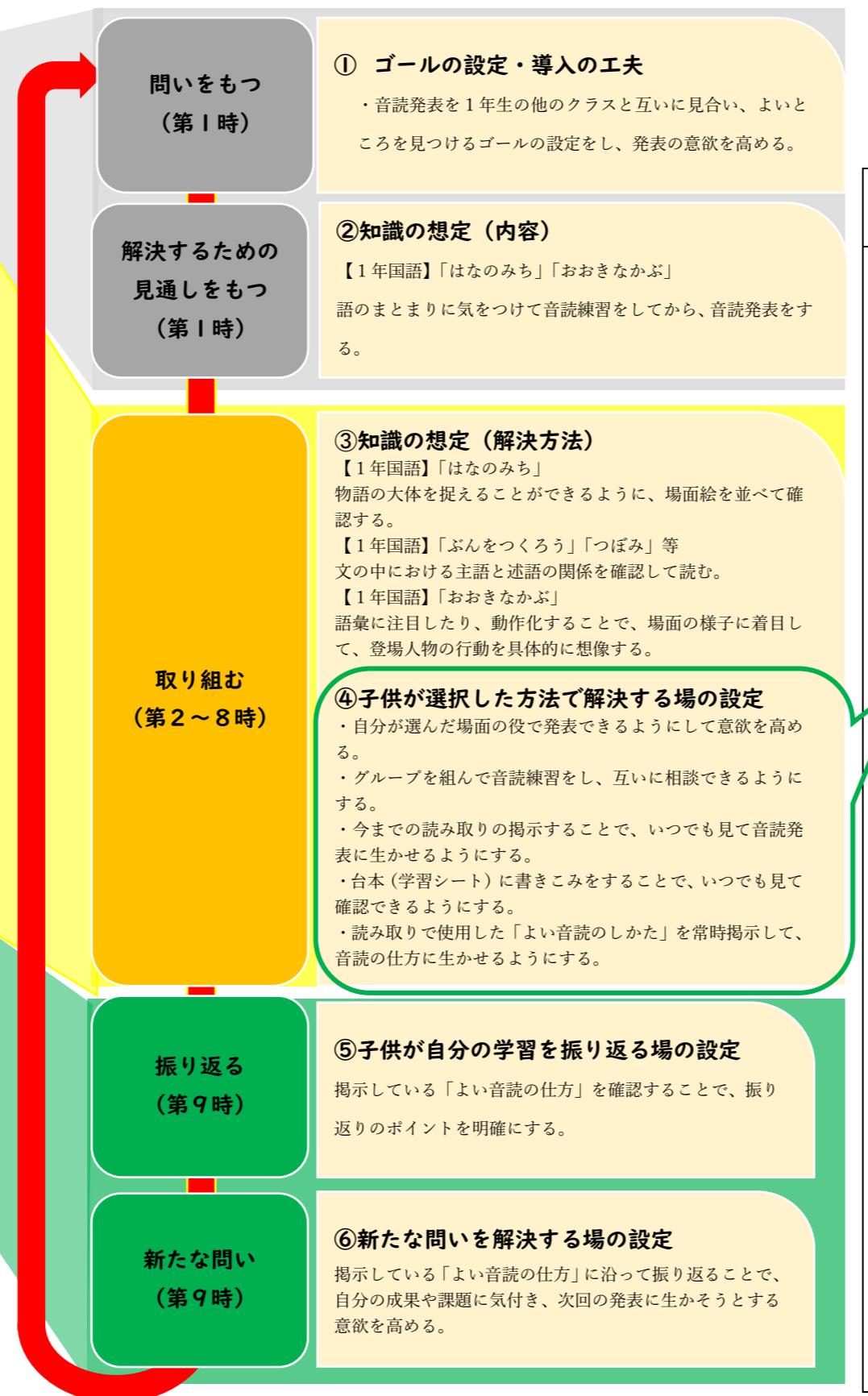
1年1組 国語科学習指導案 授業者

単元名	「やくそく」	単元の目標	①場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 ②語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	③文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。 ④場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
-----	--------	-------	---	--

単元計画

次	時	単元計画
1	1	【問い合わせ】 【解決するための見通しをもつ】 範読を聞き、物語の大体を捉える。 ゴールを設定し、学習計画を立てる。
2	2	【取り組む】 物語の設定を読み取る。第1場面を読み取る。
	3	第2場面を読み取る。 「よい音読のしかた」について考える。 ※次時からの学習でも出た意見を追加していく。
	4	第3場面前半を読み取る。
	5	第3場面後半を読み取る。
	6	音読発表したい役を決める。 音読台本の使い方を知る。 グループで音読練習をする。(本時) グループでリハーサルを行い、学級で見合う。アドバイスをもらって、よりよくする。
3	9	【振り返る】 【新たな問い合わせ】 音読発表を行う。(1年2組が見る。) 視点を明確にして振り返る。 友達のよいところを見つける。 自分の音読を振り返り、次にがんばりたいことを考える。

学習サイクル



教師の手立て

本時の展開 (7時間目/9時間)

(1) 本時の目標

登場人物の気持ちや場面の様子がよく分かるように、声の出し方や読み方を工夫して音読練習をする。(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

学習過程	○学習活動 C:予想される児童の反応	◆ 評価【観点】(方法)
	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを確認する。 おんどくはっぴょうの れんしゅうをしよう。 ○「よい音読の仕方」を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・あいてのほうをみてはなす。 ・みているひとに、きこえるようにはなす。 ・やくのきもちが つたわるように、はなしかたをくふうする。 ・ことばのまとまりに きをつけてはなす。 ・はずかしがらないで はっぴょうする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の手立て ◆ 評価【観点】(方法) <ul style="list-style-type: none"> ・本単元の目的(他の学級の友達に見てもらう)について押さえる。 ・第1時で立てた学習計画をもとに、本時のめあてを確認させる。 ・「よい音読の仕方」を掲示して想起させるとともに、いつでも見て確認できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれて練習をする。 あおむし1 あおむし2 あおむし3 大きな木ナレーター(自分で選択した役を担当する。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の読み取りのシートを拡大し、いつでも見られるようにする。 ・グループの友達と相談してもよいことを伝える。 ・読み方の工夫は、学習シートに記載し、いつでも確認できるようにする。
	<p>机を班の形にし、音読の記号や考えたことを学習シートに書いて、声にしてみる。</p> <p>C: 役の気持ちが伝わるように、けんかしているところは、大きい声で読みたいな。</p> <p>C: 「なんだろう」のところは、不思議そうに読みたい。</p> <p>C: 大きな木の台詞は、ゆっくり大きく言いたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み方に迷っている児童には、読み取りを想起させ、どのように読めばよいか考えさせる。 ・「よい音読の仕方」の掲示を示し、どれができたかを振り返らせる。
	<p>学習シートに書けた班から、机の近くで立って音読をする。音読ができたら動きを付ける。グループの友達と相談してもよい。</p> <p>C: 相手のほうを見て話すと、本物みたいに見えるかな。</p> <p>C: 何度も練習して、まとまりに気をつけてすらすらと読みたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 【思・判・表】(観察・学習シート)
	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返る。 本日の学習でできるようになったことを確認し、学習計画を見て、次にすることを確認する。 	